に対する
一般質問

施政方針の概要

主要な施策

1地域の中で支えあう福祉のまち

- 基幹型在宅介護支援センターの設置
- ファミリー・サポート・センターの設立
- 病後児保育室の設立
- 子ども家庭支援センターの建設について検討
- こどもの発達支援センターの建設
- 子育て支援計画の策定
- 子育て支援の充実
- 健康づくり推進プランの策定
- 痴呆性高齢者等グループホームの整備
- 福祉のまちづくりの推進
- 地域福祉計画の策定
- 障害者基本計画の策定
- 障害者就労援助事業
- 精神障害者地域生活支援事業
- ひばりヶ丘駅・東伏見駅バリアフリー化事業
- 成年後見制度等の利用支援事業
- 福祉サービス第三者評価実施事業

2環境にやさしく美しいまち

- （仮称）合併記念公園の整備
- 環境基本計画の策定
- （仮称）リサイクルプラザの建設

3若者を育てるまち

- 小・中学校の施設整備
- 青嵐中学校校舎建てかえ
- 西原地区小学校統合事業
- 小学校給食の食器改善
- 中学校給食の導入について検討
- 教育相談機能の充実
- 特色ある教育の実現
- 生涯学習推進計画の策定
- 学校週5日制関係事業
- 絵本と子育て事業

4安全で快適なまち

- 都市計画マスタープランの策定
- 都市計画道路の整備
- 市道の整備
- コミュニティバスの運行
- ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進
- 保谷駅南口地区市街地再開発事業
- 緑の基本計画の策定
- 緊急物資の充実
- 市体育館の建てかえ

5さまざまな産業が育つまち

- 地域産業の育成
- 農業振興計画の策定

6市民が参加する活力あるまち

- 西東京市誕生3周年記念事業
- 特定非営利活動団体（NPO）等との協働及び支援
- 総合計画の策定
- 地域情報化の推進
- 男女平等の推進
- 女性センターの整備について検討

用語の解説

○プレイパーク

特に禁止事項もなく、プレイリーダーと呼ばれる大人のもとで、自分の責任で自由に遊ぶ公園・広場

○スクールピア

不登校児童・生徒に対する訪問相談員

○エコスクール

環境を考慮した学校施設

○インクルージョン教育（包括教育）

子どもは一人一人が違うのが当たり前であることを前提として、一人一人の特別なニーズに応じた教育援助を行う考え方

市長は市民の先頭に立ち 西東京のまちづくりのために 勇気あるチャレンジを！

自由民主党

浅野　髙
酒井　澄
平井　勝
稲垣　司
大塚　裕
光　二
男

基本計画策定と理念について

質問　地方分権下における西東京市の基本計画をどう行うのか。

市長　市民が支え合う仕組みと行動の活性化、安らぎの空間形成とネットワーク化、子どもたちのチャレンジ機会の拡充、西東京ブランドの創出など4つのプロジェクトを動かし、市民参加で策定する。

地域情報化と教育の情報化

質問　地域情報化と教育情報化の取り組みを問う。

市長　8月ごろ審議会の答申を受け、地域経済や情報公開、また電子市役所実現に向け推進したい。

教育長　情報活用能力育成のため、平成17年度までに全学級でインターネット利用を可能にし、ブロードバンドデジタルコンテンツ実証実験参加の経験を生かす。

街路整備とまちづくり

質問　調布保谷線を初めとして、都市計画道路整備と周辺の用途地域見直しは急務の課題だが、現状はどうなっているか。

市長　都市計画道路の整備率は多摩平均値になるよう今後も推進する。

部長　用途地域の見直しは都の建設局と都市計画局の間で検討委員会が設置されると聞いている。市も積極的に要望していく。

子育て支援

質問　乳幼児医療費や子育てについて、本年度の具体策は。

市長　本年度10月から乳幼児医療費所得制限撤廃を3歳未満まで引き上げる。家庭支援センターを開設し、一時保育事業等の充実に努める。

防災と市民協力

質問　防災への市民協力は不可欠だが、どう考えるか。

市長　策定中の「地域防災計画」に地域や事業所の防災対策を位置づけ、消防署など関連組織の連携を強化し、防災に強いコミュニティづくりを目指す。

緑化対策

質問　地球温暖化が心配される中、市の緑化対策を問う。

市長　苗木配布や生け垣保存、樹林保存などに努め、屋上緑化やグリーンバンク制度を研究していく。

要望　西東京を緑と花の街のテーマパークにし、10周年ぐらいには西東京が緑と花でいっぱいということを要望する。

安心安全条例

質問　市内でもピッキングや窃盗犯罪が多発しているが行政としての対応を問う。

市長　行政としても防止への努力が必要だ。生活安全まちづくりに関する市民懇談会を立ち上げる。

部長　市民懇談会の提言をもとに16年3月議会へ安心安全条例の提案をしたい。

2庁舎体制

質問　2庁舎体制には問題も出ていると思うが、新庁舎の必要性について問う。

市長　西東京市全体の大きな問題なので、市民や議会の議論の高まりの中で今後慎重に検討する課題だ。

はなバスの路線

質問　田3・4・9開通に伴う「はなバス」の新ルート開設を考えているか。

市長　ひばりヶ丘駅から保谷庁舎への要望もあり、検討していく。

体育館建設

質問　体育館はどのような規模で検討しているのか。

市長　アリーナ、武道場、小体育館を中心に、スポーツ以外の活動も可能な施設を考えている。

商工振興

質問　商店街振興策として、商店街の連合会設置を。

部長　商店街懇談会を設置するとともに、連合会設置に向けて協議していく。

分団詰所建てかえ

質問　第3分団詰所は老朽化が著しく、危険だ。

市長　分団詰所建てかえは総合計画に位置づけ、堅急なものから対応していく。

中学部活動

質問　部活を外部講師で指導すべきではないか。

教育長　団体競技参加は顧問の教師配置が条件であり、外部講師では対応できない。

消防団田無第3分団詰所

再開発等公共事業について 市長の見解を問う

無所属　土井節子

財政状況を踏まえて今後の市政運営を

質問　合併の目的は行財政体質の強化を図り、自立自治体を目指すことであった。しかし、今予算では、地方交付税等の依存財源が約66億円となり、依存財源比率が過去最高の11・9％となっている。今年は総合計画策定の年だが、市長は今後の市政運営をどう考えているか。

答弁　行革の推進、内部努力、自主財源の確保、スクラップ・アンド・ビルドに努める。

なぜ新庁舎建設なのか

質問　合併協議の中で、新庁舎の建設はしないとし、広く市民の皆さんにもお知らせして、それを前提に市民意向調査を実施した。当面新庁舎は建てないというのは市民との約束事だ。施政方針では「総合計画の中で2庁舎問題に触れる」とあるが、庁舎建設を計画に入れるのか。

答弁　2庁舎を前提に、将来の課題として検討する。

ひばりヶ駅南口再開発

質問　ひばりヶ丘駅周辺整備については、新市建設計画では調査費5億円余の計上であったが、事業費103～132億円の南口再開発基本構想3案ができている。駅南口については5千㎡の公共施設問題を解決して、再開発を実施するなら、土地の9割を持つ公団の施行とすべきだと考えるが、市長の見解は。

答弁　公共施設5千㎡を公団と協議中で、公団施行を求める。

北口再開発

質問　ひばりヶ丘駅北口についても再開発と街路事業整備の2案の整備構想が出ているが、市長はどうする方針なのか。今予算では地域住民アンケート実施となっているが、住民の意向を尊重して慎重に対応すべきではないか。

答弁　住民意見を踏まえて種々な選択肢を検討する。

住基ネットについて

意見　住基ネットは、全国民に番号をつけて、国が一元管理するものであり、住民情報保護の点からも慎重に対処すべきだ。

質問　高齢者見守りネットワークの進捗状況と今後の予定について

質問　学校温水シャワー設置計画について